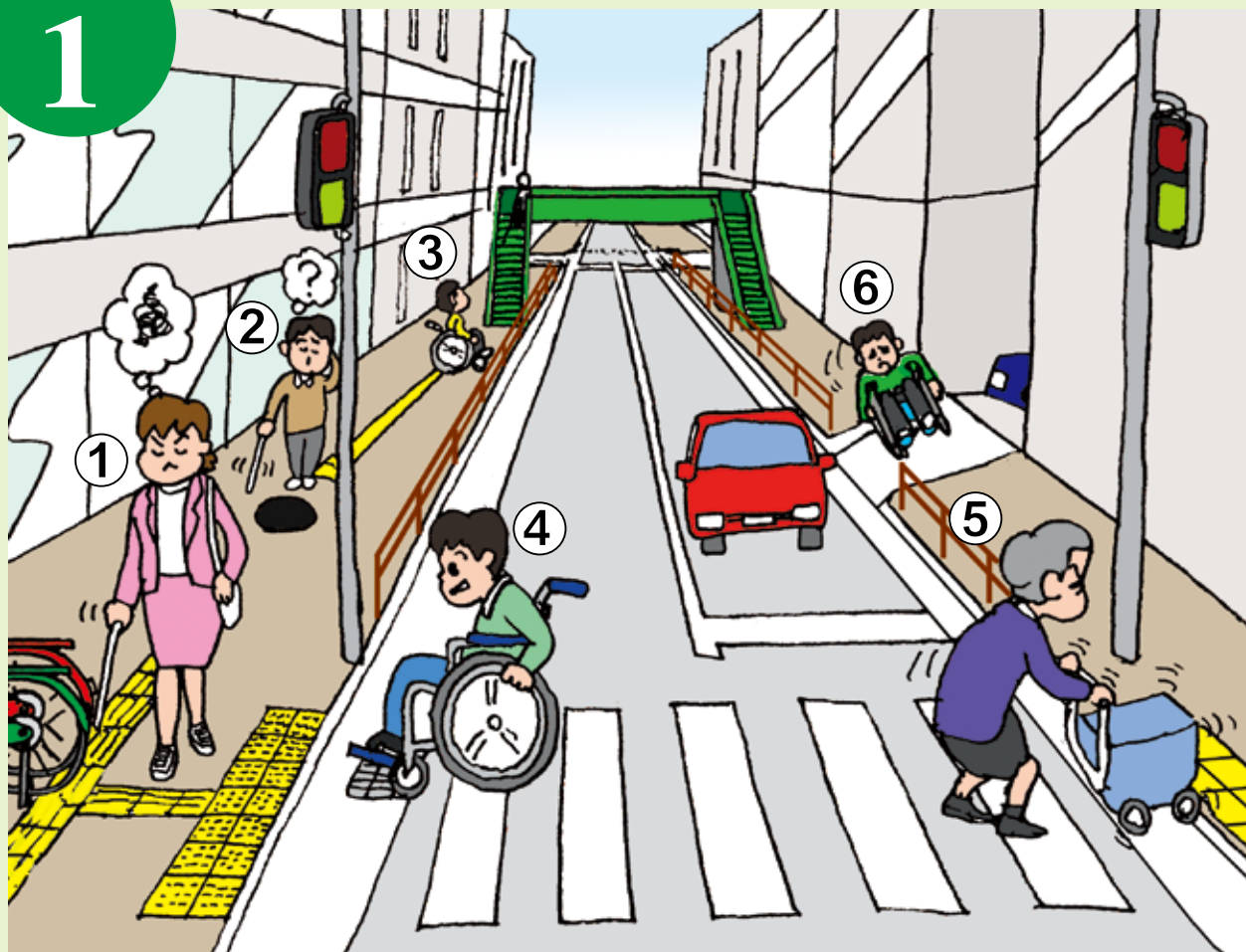


みち道には、いろんな“バリア”があります

道は、みんなが使うものです。誰もが安全・安心・快適に使えるといいですね。
でも、実際の道には、たくさんのじゃまなもの（バリア）がありませんか？

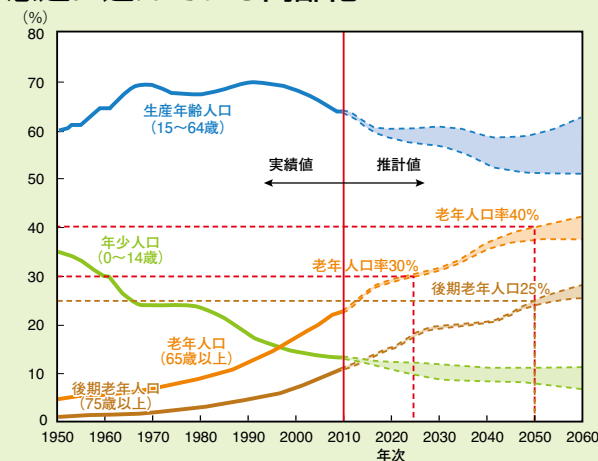
クイズ 1

絵の中の人（①～⑥）は、どんな“バリア”に困っていますか？



クイズ 2

急速に進んでいる高齢化



日本では、2025年になると、
老年人口（65歳以上の高齢者数）が全人口の●分の1を超えると予測されており、バリアフリーな「まち」や「みち」とすることは、重要かつ緊急の課題なのです。

さて、●の数は？

ア) 2 イ) 3 ウ) 4

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」

※クイズの答えはわかったかな？ 正解は、中部技術事務所のホームページ (<http://www.cbr.mlit.go.jp/chugi/>) でチェックしよう！

まちでこんな場面に出会ったら...

Aくんは、まちで、なんだか困っている様子のBさんを見かけました。
Bさんは目が不自由な人のようです。



A：「何かお困りですか？」
B：「誘導ブロックの上にも何台も自転車が停めてあって、よけるのが大変だったので…」
A：「どちらへお出かけですか？」
B：「〇〇町のバス停からバスに乗って、△△駅まで行きます。」
A：「僕も同じ方向へ行きますから、一緒にしましょうか？」
B：「お願いしてもいいですか？」
A：「ええ、いいですよ。」
B：「ありがとう。じゃあ、お願いします。」
A：「この先、また自転車が停めてありますので、少し左側に寄ります。」
B：「こんな時、ひとりで歩いているとぶつかってしまうんですよ。誘導ブロックは、視覚障害者にとって頼りの綱なのに…」



B：「あれ??」
A：「あっ！ このマンホールで誘導ブロックが途切れてしまっていますね。これじゃあ迷ってしまいますね。」
B：「そうですね。まちの中には、まだまだこんな所が多いんですよ。」
A：「バリアフリー体験歩道でみんなが学べば、まちや道のバリアが少なくなるのになあ。」
B：「『バリアフリー体験歩道』って、どんな所なの？」
A：「それは…」

※ 障害者・高齢者の方が困っている様子を見かけたら、声を掛けてあげてください。あなたの助けを必要としているかもしれません。
※ 安全を第一に、周囲の状況を伝えながら誘導してあげてください。
※ 誘導を終える時には、その後一人でも動けるように、離れる前に周囲の状況をよく説明してあげてください。